

ValueJet

VJ-1617H

ユーザー事例



これまでのワークフローが一変
 板材へのダイレクトプリントでさらなる付加価値を！

クワトロデザイン株式会社

店舗内サイン製作、LED 関連商品販売、映像編集



看板やディスプレイ、店内POPから、それらにLEDを組み合わせた特殊なサインまで幅広く手掛けるクワトロデザイン株式会社。代表取締役社長 山下さんにVJ-1617H導入のきっかけからこの製品を選んだ理由までを伺いました。

—導入のきっかけは？

MUTOH (以下M) : VJ-1617H を導入したきっかけを教えてください。

山下社長 (以下山) : **透明アクリルへのダイレクトプリント**が可能な機械を探していました。これまでは、透明なシートに印刷したものを貼ることで対処していましたが、本来の透明感は損なわれてしまいます。VJ-1617Hではアクリルに直接印刷することができるということでご紹介頂き、武藤製品への信頼もありましたので、購入を決めました。

—価格・納期が劇的に改善

M : 本製品を導入してお仕事に変化はありましたか。

山 : 価格と納期が変わりましたね。例えば店内装飾用パネルだと、シートに印刷→ラミネート→カット→パネルに貼る→カットというのがこれまでのやり方でした。それが一度の印刷とカットのみで済むようになると、**シートをパネルに貼る手間も余分なシートもいらなくなります**。その結果、価格を抑えつつ短納期に応えることができるようになったので、とても助かっています。また、シートを貼る職人さんを呼ばなくても、プリンターを使うことで**誰でもパネルの製作ができる**のはありがたいですね。

—MPインクだからできたこと

M : MPインクを選んだ理由を教えてください。

山 : インクの汎用性の高さが決め手ですね。これまで透明アクリルへの印刷とカットが課題でした。シートに印刷してアクリルに貼る手法だと、レーザーカットする時にシートから有害物質が出てしまいます。一方UVインクでは直接印刷できても、カット面からインクが剥がれてしまう恐れがありました。MPインクはその両方の問題を解決してくれています。

M : 具体的にはどんな点でしょうか。

山 : まず**インクの定着が良く**、アクリルのようなインクが染みこまないタイプの素材でもしっかり乗っています。

▼透明アクリルにダイレクトプリント



その後のカット加工では、レーザーの熱による**変色・剥がれを心配していましたが、全くありませんでした**。色々なものに応用できるインクなので、仕事の幅がぐっと広がりました。



▲ホログラムシートとの相性も抜群

—より良いものを作るために

M : 今後の展望と、武藤へのご要望を教えてください。

山 : 我々の仕事はお客様のお客様、つまりエンドユーザーさんが「それいいね、買うよ」と言ってくれるものを作ることです。ありふれたものではなく、もう一歩工夫した、お客様の喜ぶものを作っていきたいですね。1617Hはそういう思いに応えてくれていますので、いい買い物だなあと感じています。あとは、白インクの乾燥性がもう少し向上すると、製作物の幅がもっと広がると思いますので期待しています。



▲山下社長とVJ-1617H

—ありがとうございました。

User Profile

クワトロデザイン株式会社

会社所在地 〒830-1122 福岡県久留米市北野町今山 464-1
 代表者 代表取締役 山下 陵
 創立 2012年
 事業内容 看板・ディスプレイ / LED 関連商品販売及び LED オブジェ制作
 フライヤー・POP等販促物製作 / 映像編集 / バルーン装飾及び販売

製品情報

MPインク搭載 **VJ-1617H**

※現在、本製品の販売は終了しております。
 後継機VJ-1627MH 好評発売中。詳しくはWEBへ
<https://www.mutoh.co.jp/products/vj/vj-1627mh/index.html>

MUTOH